

発行所
石川県保険医協会

金沢市尾張町1丁目9番11号
〒920 尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 高松弘明
印刷所 ユーアイ印刷

石川保険医新聞

主な記事

- 2面 保団連第34回定期総会
- 3面 北信越ブロックが厚生省と懇談
- 4面 市民と介護保険学習会
- 5面 江守先生の北欧見て歩き
- 6面 マインドコントロール(その9)

患者さんに、2倍以上も負担させるなんて

高齢者が定率1割負担になると...
外来・在宅は、月1回1000円の定額負担が、受診のたびに毎回 負担で2~8倍の負担になります。
(3日連続受診、初診診察料4割)

入院も、30日入院した場合、現在定額39,000円の負担が治療費によっては2倍以上になります。

サラリーマンが2割負担になると...
(高血圧で前月から続けて3日通院した場合)
現行 1,530円⇒3,060円に
(前週4割欠損で5日間通院した場合)
現行 12,260円⇒24,520円に
※負担増分は医療機関の収入増になるものではありません。

- これが政府の計画です**
- 1 高齢者の窓口負担を現在の「定額方式」から毎回支払う「定率方式」(割増率)に引き上げる。
 - 2 サラリーマンの窓口負担を1割から10割に引き上げる。
 - 3 国保で「年金」運用費などのコストを患者負担にする。
 - 4 いままで保険料負担がなかったサラリーマンの扶養家族からも人数に応じて保険料を徴収する。
 - 5 国保料を引き上げる。

治療費のことが心配で、症状の軽いときに治療をためらい、病気を悪化させてしまったことありませんか。
そんなお金の心配をしないように、くらいたれたが本来の健康保険制度です。イザというときの備えなんです。ところが、お金の心配をますます大きくするような計画が進められています。



私たちは国民のみならずとも医療の改善をめざす医師・歯科医師8万4千人の団体です。
全国保険医団体連合会
東京都千代田区千代田2-5-5 新宿協栄ビル
TEL 03(3375)5121 FAX 03(3375)1862
石川県保険医協会 TEL 0762-22-5373 FAX 0762-31-5155

(この意見広告についてのご意見をお寄せ下さい)
TEL 03(3375)5121 FAX 03(3375)1862
〒151 東京都千代田区千代田2-5-5 新宿協栄ビル

政府・厚生省が、一九九〇年「勧告」に基づいて、五年七月の社会保障制度審 意図する社会保障と医療の

多面的な運動を展開中

社会保障・医療の改善を求め

マスコミ報道や厚生省との懇談など

制度改変は、憲法二五条の国民の基本的な権利と生存権を保障する理念を放棄し、国庫負担を削減して国民の自立自助・相互扶助を推し進めようとするものである。保団連は、このような社会保障・医療の大改悪を阻止するため、昨年九月〜十二月を「患者負担拡大反対、診療報酬・指導・審査改善運動の特別月間」に設定した。

石川県保険医協会は、この趣旨に賛同し呼応するため、昨年十月から次のような運動を展開し、現在も鋭意努力中である。

政府が介護保険制度の導入をにらんで来年四月から予定している「老人医療費の定率負担」「健保本人二割負担」「健保家族からも保険料徴収」などの制度改悪については、国民にその情報がほとんど知らされていない。

石川県保険医協会は、この趣旨に賛同し呼応するため、昨年十月から次のような運動を展開し、現在も鋭意努力中である。

政府が介護保険制度の導入をにらんで来年四月から予定している「老人医療費の定率負担」「健保本人二割負担」「健保家族からも保険料徴収」などの制度改悪については、国民にその情報がほとんど知らされていない。

協会はこのことに関して広く県民世論に訴える目的で、「老人医療・健康保険負担金並びに介護保険制度に関する患者・住民アンケート調査」を実施し、一千通を超す回答を得た。この調査報告書を会員医療機関と関係団体はじめ地元国会議員と全地方議員、県下市町村、老人保健福祉審議会、

協会以上の活動を契機に、十一月から「医療・介護制度改善を求める署名」運動を展開している。各医療機関に協力をお願いしたところ、患者さんらの署名が続々と集まり、これまでに三千三百人分に達している。また保団連の「全国紙への意見広告賛同募金」にも取り組んでいる。(別掲)

十二月二十一日には、北第一線医療担当者との率直な意見交換の場として貴重人(石川協会から三人)が厚生省保険局医療課に出向し、「次回診療報酬改定の重点要求項目」と「新指導」に関する今年度の保団連第大綱・新監査要綱の運用について懇談し、要請を行った。厚生省の実務担当者も言った。(関連記事二面)

医療保健審議会などに送付して活用を呼び掛けた。さらに十一月末にこの調査結果を持って県庁記者室で記者会見を行い、県民の意見を報告するとともに報道機関の協力を求めた。この模様は早速テレビ、ラジオ、新聞各紙で詳しく報道されて大きな反響を呼んだ。また北信越ブロック会議や保団連幹事会でも高い評価を受けた。

石川県保険医協会第二十三回定期総会

〈ご案内〉

一、日 時 二月二十四日(土) 午後五時〜午後八時

一、会 場 金沢都ホテル 七階

一、運営次第

〈第一部〉記念講演(午後五時〜午後六時半)

■テーマ 北欧と日本の高齢者福祉

〜スウェーデン・デンマーク見て歩き〜

■講師 ●井上英夫氏 (金沢大学法学部教授)

●江守道子氏 (石川県保険医協会理事)

〈第二部〉総会議事(午後七時〜午後八時)

①一九九五年年度活動報告

②一九九六年度活動方針案

③一九九五年度決算報告並びに会計監査報告

④一九九六年度予算案

⑤総会アピール

意見広告賛同募金への協力ありがとうございました

全国紙への意見広告掲載のための賛同募金には、一月二十二日現在、百五十二口、三十四万四千円が寄せられました。

意見広告は、昨年十二月二十三日朝日新聞、本年二月四日読売新聞に掲載され、保団連には全国の一般市民からの意見が多数届いています。

募金をお寄せ下さった会員の先生方には、心よりお礼申し上げますとともに、今後とも、より一層のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

石川県保険医協会
会長 高松弘明

「自殺」は決して美しいものではなくむしろ罪悪である、家庭で、学校で、そしてメディアで若者を教育すれば「いじめ」の根絶は困難としても、悲しい結末は減るのではないかとつくづく思っている。

「いじめ」は陰湿で、いじめられている方もいじめられていると告白しない。それだけに一人悩み続けた結果なのである。真に哀れで痛ましい。そのせいか、テレビ報道はあたかも悲劇のヒーロー、ヒロインのように扱っているような気がしてならない。家族が、友達、先生が、こんなに悲しんでくれるのなら……という気が起きそうだ。▼アメリカで悲劇的な結末となるテレビドラマが放映されると、若い人たちの自殺が増えるという調査もある。

一九九六年も、はや一カ月過ぎた。昨年は、いろんな面で大波乱の年であった。今年はどうなるのか。今年首相退陣、橋本首相誕生。今年の波乱を象徴しているような気がする。▼冬は患者さんが少なく暇である。それに比例してテレビを観る時間が増す(暇があったらもっと勉強しろ、という声が聞こえそうだが……)。住専への税金補填、知れば知るほど腹が立つ。阪神淡路大震災その後の復興に励む人々、涙が出る。▼またまた「いじめ」による自殺、しかも続けてである。その報道の仕方が気に掛かる。「いじめ」は陰湿で、いじめられている方もいじめられていると告白しない。それだけに一人悩み続けた結果なのである。真に哀れで痛ましい。そのせいか、テレビ報道はあたかも悲劇のヒーロー、ヒロインのように扱っているような気がしてならない。家族が、友達、先生が、こんなに悲しんでくれるのなら……という気が起きそうだ。▼アメリカで悲劇的な結末となるテレビドラマが放映されると、若い人たちの自殺が増えるという調査もある。

医心凡語

一九九六年も、はや一カ月過ぎた。昨年は、いろんな面で大波乱の年であった。今年はどうなるのか。今年首相退陣、橋本首相誕生。今年の波乱を象徴しているような気がする。▼冬は患者さんが少なく暇である。それに比例してテレビを観る時間が増す(暇があったらもっと勉強しろ、という声が聞こえそうだが……)。住専への税金補填、知れば知るほど腹が立つ。阪神淡路大震災その後の復興に励む人々、涙が出る。▼またまた「いじめ」による自殺、しかも続けてである。その報道の仕方が気に掛かる。「いじめ」は陰湿で、いじめられている方もいじめられていると告白しない。それだけに一人悩み続けた結果なのである。真に哀れで痛ましい。そのせいか、テレビ報道はあたかも悲劇のヒーロー、ヒロインのように扱っているような気がしてならない。家族が、友達、先生が、こんなに悲しんでくれるのなら……という気が起きそうだ。▼アメリカで悲劇的な結末となるテレビドラマが放映されると、若い人たちの自殺が増えるという調査もある。

新年が明けてから少し日もたつてしまつたが、九六年最初の理事会という事で高松会長から「今年もがんばってほしい」というあいさつで始まる。

総務部からは、安藤副会長が十二月に参加した北信越ブロックの厚生省交渉が報告された。十二月に厚生省から新指導大綱が出された直後であったので、かなり突っ込んだ意見交換がなされた。この新指導大綱は、医療費削減を一層推し進めるために、レセプト点数の高い方から毎年一割の医療機関を集団個別指導の

対象にしようというもので、モグラたたき以外の何物でもない。財政部からは九五年度取得が急務であるとの認識。介護保険は国会に上程される見通しであるが、保団連が朝日新聞に掲載した意見広告の反響は大きく、事務局の方で今後の活用の仕方を検討することにした。また、保険医協会に講師派遣依頼も寄せられており、オピニオンリーダーとして一層の奮闘が期待される。

第15回理事会点描

内外から注目される 保険医協会の活動

(1月16日・12人出席)

二月の総会に向けて九五年の活動報告案が出された。保険医協会の活動も多岐にわたつてきており、内外においてその活動が注目されてきている。このころである。

(原記)

持論

昨年十二月二十二日、厚生省は新指導大綱・新監査要綱を通知した。これまでに保険医協会・保団連が審査、指導、監査の改善を強く求めてきたが、今回の新指導大綱・新監査要綱にどのよう反映されたのか、また、その実際の内容はいかなるものなのかを検討していきたい。

指導・監査の改善で、保険医協会・保団連が求めたものは、富山の事件、京都の事件などで明らかになった、①不明瞭な指導対象者の選定②あいまいな指導と監査の区分③自主返還の強要など強権的な指導④行政と関係団体の癒着、⑤保険医の人権を保障しない密室性などである。今回の改定で、①指導対象者の選定では選定委員会を設置し、

重大な問題を含む 新指導大綱・新監査要綱

選定基準が明らかにされた。②医師会、歯科医師会の関与はなくなり、行政との癒着は排除される。③集団的個別指導が新設され、特に新規開業医の指導は集団指導とする。以上、三点については一応、評価できる。しかし、新大綱・要綱には以下の

ような危険な問題点がある。

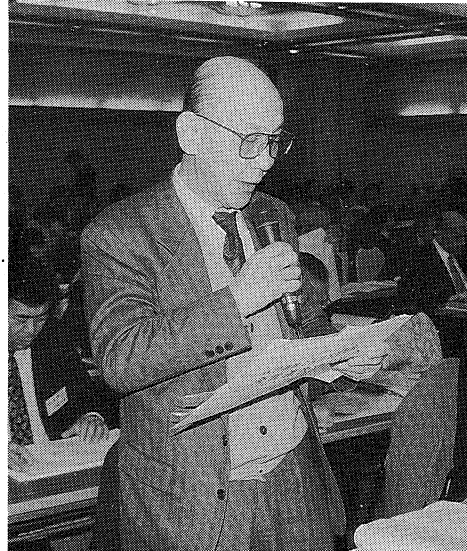
まず、集団的個別指導の選定基準は、「平均点数が高い順に選定する」としている。さらに個別指導の選定基準で、「集団的個別指導を受け、翌年度の実績においても、なお高点数に該当するもの」を挙げてい

次に、新指導大綱は「指導の結果、監査要件に該当すると判断した場合、後日速やかに監査を行う」、また指導中に「明らかに不正または著しい不当が疑われる場合には指導を中止し、直ちに監査を行うことができる」とし、指導と監査の連動を図

た。また「自主返還」を求めることは従来どおりで、指導の範囲の逸脱である。さらに「不当」という概念の明確でない基準を存続して、選定に恣意的要素が入り込む余地を残している。

各協会代表の発言は、診療報酬・社会保障、審査・指導・監査、税制、介護保険・卒後研修・准看、地域医療・福祉、震災関連、憲法、平和、総会方針・組織・運営など多岐七十項目以上に及び活発かつ熱心に行われ、これにフロア発言も加わって全国の心ある開業医たちがいかに国政を憂い医療に情熱を燃やしているかが、ひしひしと伝わってくる思いであった。石川協会は北信越ブロックを代表して厚生省保険局医療課との懇談会に報告した。

二日間、ほとんど中座する人もなく真剣で心の通い合う討議を終えたわれわれは最後に、「国民と力を合わせて社会を守るとともに医療経営を守り、良い医療を行う。二十一世紀に



総会発言に立つ安藤副会長

保団連第34回定期総会 報告

全国から参集した医師らに 医療への情熱を感じて

総会代表 安藤 良一

多くの難問をかかえて医療・福祉問題が緊迫するなか、保団連総会が一月二十七日・二十八日に開催され、石川協会から三人が出席した。全国から三百余人が集い、会場は初めから期待と熱気に包まれた。堀場会長はあいさつで、「社会保障の憲法理念を社会連帯の思想に変質させようとする国の政策が進行するなか、今年はこのような改革を許すのか、それとも国民的大運動で社会保障と医療制度を前進させるのか極めて重要な年になる」と訴えた。河野副会長が報告した本年度活動方針については、全国保険医新聞十二月二十五日号をお読み頂きたい。

北信越ブロックは診療報酬改善などで三年連続、厚生省と懇談・要請を行っており、昨年十二月に四度目の懇談を行った。内容は次回診療報酬改定に対する重点要求と、新指導大綱への質疑である。北信越ブロックの重点要求は①一月と五月のレセプト提出日の繰り延べ②寒冷地療養手当の適用拡大③初診料・再診料など基本診療費の重点評価と不合理是正……である。新指導大綱については、北信越ブロック指摘の問題点①高点数の医療機関を指導対象と標準化したこと②審査委員会を医療費抑制策の協力機関に変質させること③指導件数が大幅に増大すること④自主返還金に対する厚生省の考えがたかくななこと……などに関して懇談し、互に本音で議論し意志疎通の面でも成果があった。

「行政の机上プランが現場にそぐわず矛盾もある。現場医師の生の言葉で訴えること」道は開かれる」との認識でこれまで懇談会を行っており、現に外用薬投与日数やレセプトへの署名不記載などで成果があった。北信越ブロックでは今後この企画を続け、その時々課題を明らかにして率直な意見交換をしていく。

《石川協会の発言要旨》 北信越ブロックと厚生省との 四年連続の懇談・要請活動

向けて魅力ある開業医集団としての保団連・保険医協会を作ろう」の趣旨に基づき十項目の総会宣言と特別決議を採択して、決意新たに散会した。

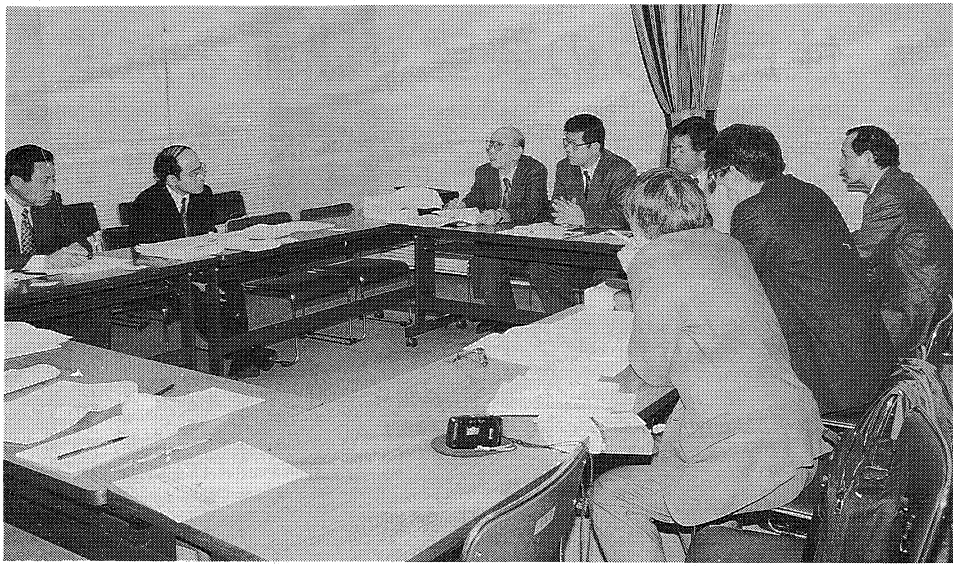
保団連北信越ブロックが厚生省と懇談

現場無視の不見識に抗議!

副会長 安藤 良一

十二月二十一日(木)、北陸は朝から雷雨だったが東京は快晴。正午に着いた霞ヶ関の第五合同庁舎一階ロビーは、昼休みの職員と外来客で駅待合室のような賑やかな雰囲気だ。懇談に当てられた会議室は、パネルで幾つかに仕切られ隣の声もじかに聞こえる状態で、国家予算が決まるこの時期、懇談や陳情がいかに多くなっているかが想像できる。

午後一時、厚生省側四人とわれわれ八人で早速、懇談開始。神田事務局長の進行役で、まず、新指導大綱に対するブロックの見解の資料に従って、神田医療課長補佐の意見を聞く。指導問題でわれわれが最も重視した「高点数医療機関を選定基準とする」方針に関しては、厚生省は「集団個別



厚生省と懇談する北信越ブロックの面々(右側)

『医療費抑制』なる言葉は使用しなかった。

審査委員会の機能強化に關しては、委員会には通報義務があつて指導対象の選定や経過過程でも意見を聞く公的な事務であると厚生省は言うが、指導医療官が審査委員を兼務すること自体に、われわれは反対である。

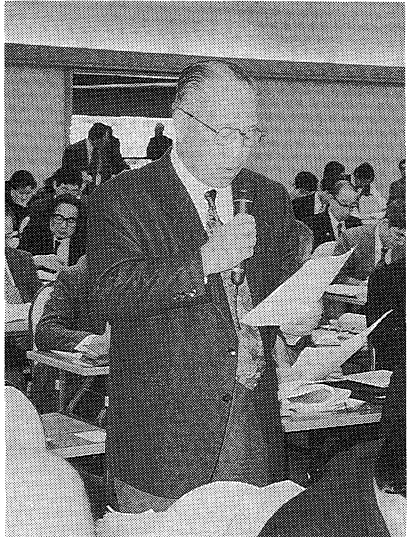
「指導件数が増加するのではないか？」との問いには、「確かに増加するだろうが、これは中医協の意見によって指導を充実させる目的だから当然であつて、多くの医療機関は問題なしとなることもあるだろう。しかし今回の改正は決して従来の指導を緩めるためのものではありません」と断言した。

自主返還金問題は、指導の場で事務上の過誤調整以外に行政が返還を求めること自体が違法であると私は

理解しているが、今回のブロック見解ではその点を触れておらず、残念ながら発言する機会を逸した。厚生省の言い分は、「不当利得は返還するのが当然で、法係争へ持ち込むのは問題である。保険者の利益を守る上での行政の役割であるし、二年までと期間短縮したのはむしろ和緩である」であつた。

行政手続法は、国・県に於いて、法の精神は踏まえつつも、法単独指導では非適用であるとの論法を変えなかつたが、同席の私市指導室長は「準用も考え得る」と譲歩的発言をした。同法の解釈上の相違は今後の重大問題であり、われわれが運動し改善していく余地は十分にあると感じた。

大矢副会長の発言、「集団指導にもっと力を入れれば個別指導は減るのではな



患者・住民アンケートの集計結果について報告する高松会長

保団連幹事会 報告

師走の東京で「討論漬」大にぎわいの幹事会

会長 高松 弘明

昨年十二月十七日(日)、保団連幹事会が東京・ホテル浦島で開かれ、石川協会からは、私と杉野事務局員が出席しました。師走の慌ただしい最中の幹事会とは、保団連の熱心さも極まれりと半ばあきれ顔で九時半に会場へ。ところが、全国から集まった幹事・事務局員で、会場はすでに超満員。

老人医療定率負担、健保本人二割負担、診療報酬マイナズ改定、介護保険、指導・監査大綱など、重要課題が入り乱れている現状から、終了の午後四時まで、全身これ討論漬。誠意ある執行部の答弁にも熱意がこめられ、大にぎわいの幹事会と

強く抗議し、前言取り消しを求めた。さらに、院内薬剤師の技術料評価の件でも、医薬分業を厚生省が推進する理由として、医療機関の薬価差益解消が第一理由との言葉が出て、いつまでも薬価差益意識から離れられない行政の昔ながらの認識に対し、「今時そんな計算づくで処方する医師はいない。行政に不信を抱くもとなる考え方だ」と注意した。だが、原価を見て見ぬ振りの薬価基準設定が、医療費高騰の大きな原因であることを指摘する時間が無かつたのが残念であつた。

歯科の要望項目については現在いろいろ検討中であり、見直しはするつもりであるとの返答を得た。

今回の懇談は、要請項目が多過ぎて、言いたいことの半分も言えなかつたと思うのが実感である。またの機会を期待したい。

介護保険制度：反対四〇％、賛成二〇％、保留二〇％、わからぬ二〇％。賛成はほとんどが条件付賛成。五十歳までは賛成と保留が反対を若干上回り、六十歳以上では明らかに反対が多かつた。

以上から、定率負担、老人医療定率負担、健保本人二割負担、診療報酬マイナズ改定、介護保険、指導・監査大綱など、重要課題が入り乱れている現状から、終了の午後四時まで、全身これ討論漬。誠意ある執行部の答弁にも熱意がこめられ、大にぎわいの幹事会と

十一月二十九日の記者会見で、新聞三社、テレビ・ラジオ局五社が、アンケートの内容と問題点を市民の声としてこれまでに大きく取り上げ、広範な反響が巻き起こつた。

十二月に入り、総理府が介護保険制度八〇％賛成のアンケート結果を発表した点からも、当協会の住民の声を貴重な問題提起として十分に活用したいと考えている。

石川協会からは、十月下旬の、介護保険に関するアンケート結果と、マスコミへの記者会見の様子を、アンケート報告冊子を配布して報告しておきました。右記は、当日の発言原稿です。

《幹事会の発言要旨》

住民アンケートで広範囲な運動を展開

石川県保険医協会では、二割負担は反対運動を推し進め、介護保険制度は、内容が国民に知らされていない現状から、政府・厚生省に内容公開と広く国民的議論を踏まえるように働きかけていくこととした。

五千部の報告書は、アンケート依頼先、七百四十四人の県内全地方議員、県選出国會議員、県内自治体、厚生省老人保健福祉審議会委員、医療保険審議会委員などに配布した。

住民からの要望で講師を派遣

介護保険の学習会を各地で

事務局長 神田 順一



介護保険学習会への講師派遣依頼を受けて。講師は喜多理事（写真は1月8日、石川県女性センター）

一月八日、二十日と保険医協会に介護保険学習会の講師依頼があり、喜多理事と神田事務局長が対応した。学習会を開催したのは、昨年九月に金沢で開かれた高齢者社会をよくする女性の会（樋口恵子代表）の第十四回全国大会事務局として活躍した石川県生活学校連絡会（一月八日、四十人参加）と金沢高齢社会をよくする女性の会（一月二十日、三十人参加）である。

学習会は、昨年十一月に作成した『患者・住民アンケート調査報告書』に掲載した喜多論文「介護保険について考える」をテキストに行われた。

講演の要点は、①ドイツ介護保険の実態②厚生省の「高齢者介護・自立支援システム研究会」報告書のポイント③社会保障制度審議会「九五勧告」と政府の「公的介護保険」構想の位置付け④わが国の介護の現状と問題点⑤公的介護保障に向けた保団連の提言⑥公的介護保険についての対応である。（詳細は喜多論文を参照下さい）

講演の後、参加者との質疑応答が活発に行われ、介護保険構想の問題点が浮き彫りになった。主な意見は次の通り。

講師を派遣します

介護保険について学習会を開きたいとお考えの団体・グループに講師を派遣します。保険医協会までお電話下さい。

☎ 0762 (22) 5373

①最初に社会保険方式が提案されているが、なぜ公費（税）負担方式がダメなのか。現行の措置制度への苦情は介護サービスの供給量が不足しているからである。措置制度は守るべき。

②今でも国民健康保険や国民年金保険料の未納者が多いと聞くが、介護保険の徴収は本当に大丈夫か。国保の二の舞にならないのか。

③二十歳以上の国民一人当たり月額二千円ほどの保険料を負担することだけが先行している。保険料に見合う、どんな介護サービスがあるのか。

新春クロスワードパズル当選者発表

答え：③番

本紙新年号のクロスワードパズルに多数のご応募ありがとうございました。抽選の結果、10名の方が当選されました。

お名前 年齢 性別 住所

*北村 陽子	40	女	石川県七尾市
*北村 武子	40	女	石川県七尾市
*小林 勝美	40	女	石川県七尾市
*高橋 勝美	40	女	石川県七尾市
*竹田 君江	40	女	石川県七尾市
*西戸 昌代	40	女	石川県能美郡
*松田 万里	40	女	石川県能美郡
*松本 山	40	女	石川県能美郡
*南 朱美	40	女	石川県能美郡
*南 亜希	40	女	石川県能美郡

▽訂正とおわび△

本紙新年号五面の「お訪ねします」に次の誤りがありました。訂正し、おわびいたします。

(誤) 佐伯クリニック
(正) 佐伯ペインクリニック

④要介護の判定はどこで誰が行うのか。六十五歳未満の痴呆や障害を持った人は介護サービスが受けられないのか。

⑤介護サービスの提供機関はどこか。民間の介護保険や介護サービスはどのようなに参入しようとしているのか。その内容や水準に問題はないのか。介護保険が施行された場合、保団連が提言している市民監視の福祉オンブズマン制度は絶対必要である。ぜひ実現してほしい。

⑥「公的介護保険」という名称では、公的責任の拡大で介護サービスがよくなるという誤解を招いている。名称を改めるべき。

⑦介護保険への公費負担は消費税の増税でまかなうと



女性の尿失禁

西東 康夫 (金沢市・泌尿器科)

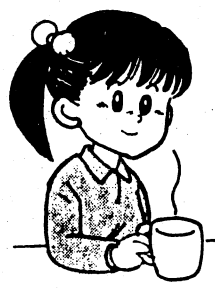
生活(命?)の質(QOL)の重要性が認識されるにつれ「尿失禁」に対する関心が高まりつつあります。いままでも「尿失禁」の対応は泌尿器科医に委ねられていたケラスがほとんどでしたが、日本の高齢化社会に向けて

関心を持たれる他科の先生方も増えてきました。さて「尿失禁」は高齢者のみならず若・中年女性にもかなり高頻度で見られることを存じでしょうか。「尿失禁」はその「事実を人前で隠そうとする」「恥ずべき状態」とい

う心理から申告者は少なく、統計的には過小評価されているようです。ある医療機関が行った無記名アンケートによると、女性の失禁頻度は二十歳代で五人に一人、三十歳代で三人に一人、四十歳代で五十歳代では二人に一人と高率に認められています。「尿失禁」で悩んでいる女性はかなり多いことが容易に想像できます。

「尿失禁」の臨床分類は幾つかありますが、女性のみならず若・中年女性にもかなり高頻度で見られることを存じでしょうか。「尿失禁」はその「事実を人前で隠そうとする」「恥ずべき状態」とい

性患者の大半は腹圧性尿失禁と考えられ、手術療法が中心となる重症例を除けば多くの例では骨盤底筋訓練と補助的投薬で症状はかなり改善します。セックスを含め下半身のことは公にしないというのが日本人の伝統的習慣で、誰にも言えず我慢することで不利益を被っている人は多いと思います。とりわけ女性の「尿失禁」は自らの訓練で改善することから、日常診療やマスコミなどで啓蒙活動が進んで行けば、かなりの人が悩みから開放されると思います。もし女性から小声で相談を受けたら優しく助言してあげてみてはいかがでしょうか。



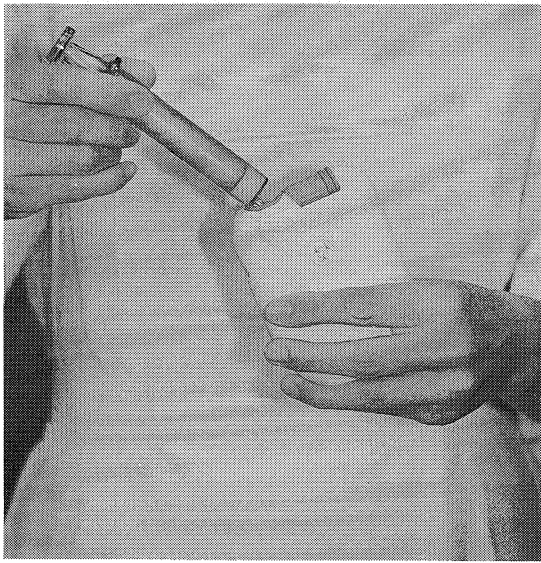
このコーナーの原稿を募集しています

新点数検討会の日程が決まりました

- 金沢会場 *駐車場はありますが、満車の場合は近くの駐車場をご利用下さい。
 - とき 3月24日(日) 午前10時～正午
 - ところ 石川県女性センター 1階ホール (金沢市中央郵便局となり)
- 七尾会場 *駐車場はあります。
 - とき 3月24日(日) 午後2時半～4時半
 - ところ サンライフプラザ七尾 2階視聴覚室 (七尾市民会館となり)

疑義解釈およびレセプト記載要領を中心にした新点数運用説明会は4月28日(日)、同会場・同時刻にて開催します。(詳細は後日)

◎詳しくは案内チラシをご覧ください。



携帯用の針捨て容器

特別管理産業廃棄物

感染性医療廃棄物の処理

— 4回シリーズ —

わが国の医学の発展は目覚ましく、医療技術の向上と高度医療機器の整備は確実に長寿社会をもたらしました。が、半面、新たな感染の問題や処理困難な大量の廃棄物という、環境に重大な影響を及ぼす結果をもたらしたのも現実です。

医療廃棄物の減量効果は、発生現場での分別、処理方法、運搬方法によって決まります。

①注射を行ったら針にキャップをしないで注射筒と分離し、それぞれ別の収納容器に捨てること。そのために工夫した容器の活用。

最終回

医療廃棄物の減量“作戦”

某総合病院における医療廃棄物の調査結果の事例

	外来各科診療	病棟、透析室	合計
院内焼却	13.5kg/月	81.0kg/月	94.5kg/月
委託処理	18.3kg/月	313.7kg/月	332.0kg/月
産業廃棄物	21.8kg/月	1,263.2kg/月	1,285.0kg/月
合計	53.6kg/月	1,657.9kg/月	1,711.3kg/月

委託処理(感染性)332.0kg 19.4%

(注記) すべてを区別しないで処理した場合は約90〜100万円位になります。が、感染性廃棄物としてマニフェスト伝票で管理するのは約5倍となり、また、いかに区別が大切で経済的か分かります。

②オートクレーブ(高圧滅菌器)の活用で、注射筒、ガーゼ、脱脂綿、試験管やシャーレ(内容とも)、透析用チューブやフィルターなどを産業廃棄物とする。点滴ボトルも産業廃棄物です。

③薬品の空ビン、空カンにはリサイクルへ。アンプル、バイアルなどは割れて刺傷の危険があるので、ナイロン袋と空箱の併用で産業廃棄物として安全に処理できます。(参考文献) 医療廃棄物マニュアル 感染性廃棄物処理ハンドブック



先生と一緒に老人ホームを訪問する小学生たち

江守道子先生のデンマーク医療・福祉見聞記

(最終回)

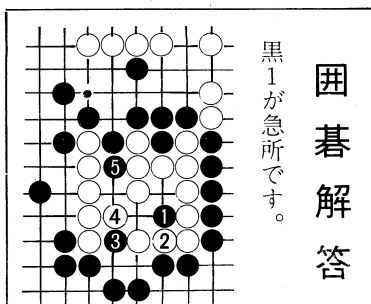
今回の視察では、多くのことに感心させられた。まず、私たちの訪れた病院や診療所、ホームではどの施設でも花や絵が飾られてあり、窓には美しいカーテンが掛けてあった。それはとてもカラフルでまるで自宅にいるような雰囲気だ。訪問者にはコーヒーとクッキーが出されるなど、訪問しやすく、人間として生きて行くのが楽しくなるように工夫されていた。たとえ寝たきりになっても、希望すれば在宅で介護サービスを受けることが可能であり、個室が完備され

教育こそ日本を救う道

「家」を実現するという強い意思を感じた。さらに、保健、医療、福祉がそれぞれ対等で、専門家として独立しており、必要とあれば互いに連携し、一人ひとりに必要なケアをサービスできるシステムだった。そして、そのシステムも不都合が生ずれば直ちに改良するといった柔軟性があった。日本のように一つの制度を改革するのに時間がかかり、なおかつ改善もままならない中央集権、官僚制度と違い、ここでは地方分権、国民本位主義が確実に根付いている。

「限らない平等」といえば、ノーマライゼーションという言葉が聞いて久しくなる。老人も障害者もすべての人が互いにこの社会に必要なであると認め、日常風景の中で普通の生活を送れるということだ。福祉施設はだれもが訪問しやすいように、すべて市内の交通の便のよい所であった。私たちの訪れた老人ホームでも小学三年生の生徒たちが先生に連れられて人生の先輩である老人たちと交流している姿に接した。このような教育があるからこそ、人に優しい政策を実践する福祉国家が実現したのだと痛感した。

教育における平等は徹底している。男女、老若、自国民と外国人などを問わず、すべての人々が意義のある人生を送るために受ける教育の機会が均等である。大学生の平均年齢が二十八歳と聞けばお分かりと思うが、たとえ失敗してもやり直しの利く教育制度である。さらに「限らない平等」は子孫までをも対象として



三回にわたって掲載した本シリーズは今回で終了しました。

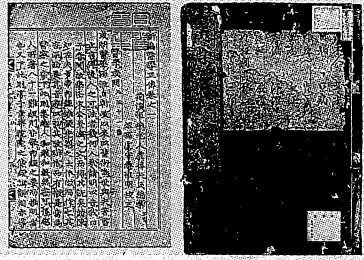
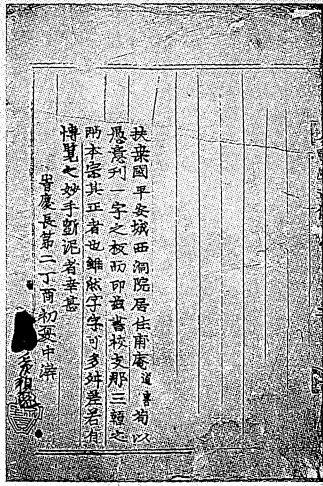
石川県医事文化史跡めぐり

▶ 10 ◀

加賀藩医小瀬甫庵の偉業

～誤まれる墓所の立札～

多留淳文 (日本医史学会評議員
金沢市・内科)



甫庵版『医学正伝』慶長2年(1597)刊

宮内庁書陵部蔵

(川瀬一馬『古活字版の研究』附図による)

昨年、NHKから私に秀吉の健康法について問い合わせがあり、今年の大河ドラマは秀吉だと予感した。

文禄三年(一五九四)秀吉は伏見の前田利家邸に臨み、主従ともに灸を点じたと『加賀藩史料』にみえる。この話は小瀬甫庵の『太閤記』には出てこないが、甫庵は実子坂井修庵の勧めで、藩医兼書物奉行として寛永元年(一六二四)前田利常に出仕した翌年に『太閤記』を完成させただけでなく、後に「加賀は天下の書府」といわれる基礎を作った。のみならず日

本医学史の中で甫庵が果たした偉大な功績は、文禄・慶長の役で朝鮮から取り入れた古活字版によって、『十四経發揮』『医学入門』など多数の中国医学書を和刻し、医学の普及に貢献したことである。

小瀬甫庵の後裔は一部断絶したが、石川県(金沢と辰口)と兵庫県にご健在であり、由緒書や家系図が残っている。ただ誠に残念なのは、平沢一

小瀬家の墓が整理され、立て札が立っているが、そこには初代甫庵の墓はない。甫庵の墓は以前一族の墓があった所(立て札の三十メートル後)に残されている。

今回はあえて墓の写真掲げなかった。後学や観光客のために、正しい案内ができるよう、有志の先生方のお力をお借りしたい。

(参考文献) 加藤豊明「加賀藩に來仕した小瀬甫庵とその未裔」『北陸医史』九巻、一号一九八八。

サイコロジカル・ショート・ショート

マイン・トロントール編(その9)

好意(1) 美貌

大石ひろし

伏せた睫毛が、なぜか悲しそうであった。結い上げた髪と白い「うなじ」は、うす紫の着物の美しさを引き立てていた。

信一が、はじめて、そのバーに入ったのは、暮れの忘年会の帰りであった。ひとすじに奥に伸びたカウンタートーブルには十人ほどの男たちが繋がっていた。

「いらっしやいませ」
にっこり笑ったその顔は、以前どこかで会ったような気がした。もしかしたら、信一の母の若いころに似ていたのかも知れなかった。それから信一は、機会があつて外出するたびに、その店に通った。
一カ月ほどしたある日、信一はその店に誘われ

た。

「向かいのお店が売りに出ているの。今のところは、狭くて・・・。もっと大きな店に替わりたかったのだけど、どうしたらいい？」

売り手の都合で、すぐに買わなければならないこと、一週間以内今の店が売れるらしいこと、そんなことをくどくどと言われた。要するに金を貸して欲しいらしい。信一は、あんなきれいなママの言うことなので、危険は感じなかった。

(なんと)言ったって、一週間たったら、貸した金は返ってくるはずだ。そして何もなかったことになるのだ。信一は妻に内緒で現金を用意した。

それから十五年、今でもその金は返っていない。私たちは、自分が好意をもっている知人から何か頼まれると、ほとんどの場合、イエスと言ってしまいます。

米国デトロイトのジョー・ジラードは、一九六六年から一九七七年の十二年間を通じて、一日に五台の乗用車とトラックを売り続け、世界一の自動車のセールスマンとしてギネスブックに出ています。彼は、インタビュウの中で、セールスの秘訣を聞かれて、次のように答えました。

「そうそれですよ。自分の好きなセールスマンがいて、妥当な金額の車があれば、車を買おうと思っ

保険医協会のグルメが自信を持ってお勧めする

食べ歩き会のご案内

とき 3月13日(水) 午後7時半～9時
イタリア料理
ところ ラ・ヴェリタ
金沢市四十万3丁目110
☎(96) 0508
参加費 お一人様 10,000万円

申込 3月6日までに保険医協会事務局へ、お電話またはFAXにて、お申し込み下さい。
☎(0762) 22-5373 / FAX 31-5156

ていた人は誰でも、すぐに車を買いますよ」
ジョーは、魅力的な外見の男性だったのです。
男ベテン師がハンサムで、女の詐欺師が美人なのは、よくあることです。

美貌の異性、アルコール、これだけ揃えば、あなたももう完全に相手のマインドコントロールの術中にあるのです。ご用心!

新刊

吾反骨の人生

保険医協会顧問の

登谷栄作氏が自費出版

保険医協会顧問の登谷栄作氏が、この度、「吾反骨の人生」を自費出版されました。以下、読売新聞に掲載された書評を転載します。なお、お読みになりたい方は、金沢うつのみや書店にて二千五百円で販売しております。

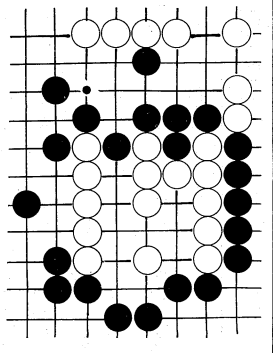
開業五十周年を迎えた松任市の医師、登谷栄作さんは、「反骨医」としての人生の履歴書「吾反骨の人生」を刊行した。海軍医となつて南方戦線で生死の境をさまよつたこと、帰還してからの開業医時代を始め、今年七十四歳になるまでの歴史を振り返っている。

新聞への投稿文、記事を交えながら、日本医師会代議員、カドミウム公害調査など、これまでの活動をたどる。現役医師らしく「医師としての新たなテーマ」と題して、ホスピス(治療の見込みのない患者への精神面、生活面のケア)にも言及している。

登谷さんは「町医者となつてからも、正しいことをあくまでもつらぬく『反骨』を通してきた。反骨が、きょうよりもいい明日を迎えようとする試みを支えてきた」と話している。

A5判、二百四十一ページ。問い合わせは登谷さん(0762・75・0575)まで。

出題者 七段 向井富治 (金沢市・内科)



三岡の現れ黒の簡易な問題です。高村省乗段の対局に於て、黒の簡易な問題です。